



絵手紙で思いやりと感謝の 気持ちのキャッチボール

大沼榮蔵さん(谷郷・75歳)

はがきなどに季節の草花や果物などを水彩絵の具や顔彩で描き、一言添えて相手に送る、生涯学習としても人気が高い絵手紙。今月は、行田絵手紙おおい会で長年にわたってその魅力を伝え続けている大沼榮蔵さんを紹介いたします。

大沼さんが絵手紙と出会ったのは30代前半のころ。勤務先の郵便局で開かれた絵手紙体験コーナーで講師から手ほどきを受け、日常のあらゆるものが題材となり手軽に描けることから、すっかり夢中になったそうです。そこで数人の仲間と同会を立ち上げた大沼さんは、その数年後に会長としてメンバーの指導に当たるようになり、現在では市内の公民館など8カ所まで講師を務めています。生徒の中には「うまく描けない」と弱気になる人もいますが、下手は個性であり、他の人にはまねのできない素晴



らしいので、手紙を受け取る相手のことを思いながら自分に正直になつて描くことが何より大切であると伝えているそうです。「自由な発想で創作してほしいので、あえて細かいルールは教えないようにしています。どんな作品が生まれるか私自身も一緒に楽しんでいきます」と話してくれました。そんな大沼さん自身の作品づくりのモットーは「ユーモアを忘れないということ。素材を擬人化させたり、文に駄じゃれなどのちよつとした言葉遊びを入れたり、受け取った人が思わず笑顔になるような工夫を心掛けています。」

「絵手紙を受け取った人が『元気をもらった、背中を押された』などという喜んでくれると私もうれしくなります」と目尻を下げる大沼さん。絵手紙の魅力について「私は、62円の交際費」と呼んでいます。最低限のルールを守れば自由に相手に気持ちを伝えられます。絵手紙を送り合うことで、思いやりと感謝の気持ちのキャッチボールができるのがいいですね」と語ります。

「シニア層だけでなく子供たちにも絵手紙を通じて相手に思いやる気持ちを育んでもらいたい」と話す大沼さんが描いた絵手紙の便りは、今日もどこかで誰かを元気づけたり楽しませたりしていることでしょう。

はじめまして



平成28年12月生まれのお子さんを募集します

○10月2日(月)～31日(火)に電話またはEメールで
広報広聴課広報広聴担当(内線318)
※応募要領は市ホームページをご覧ください。
○応募者多数の場合は、11月2日(休)午前11時から
市役所203会議室で公開抽選を行います。



★★★ 平成28年10月生まれのおともだち ★★★



萩原 壮真ちゃん(駒形)
平成28年10月11日生まれ
父・弘行さん 母・真梨さん
「元気に大きくなってね!」



柴崎 亮太ちゃん(堤根)
平成28年10月14日生まれ
父・孝之さん 母・恵美さん
「元気でたくましく育ってね!」



山崎 ローサちゃん(若小志)
平成28年10月2日生まれ
父・良二さん 母・えりかさん
「元気にすくすく成長してね!」



島田 新大ちゃん(前谷)
平成28年10月3日生まれ
父・正憲さん 母・亜希子さん
「我が家のアイドル、あらたくん!」



坂本 陽樹ちゃん(白川戸)
平成28年10月16日生まれ
父・純一さん 母・由美子さん
「沢山食べて大きくなってね!」



伊藤 楷斗ちゃん(谷郷)
平成28年10月16日生まれ
父・晃一さん 母・恵子さん
「楷ちゃんだあーいすき♡」

ぎょうだの会社を グローバル!!

株式会社センターインコーポレーション

小さなニーズを把握し、商品開発へつなげる



会社プロフィール

代表取締役社長 仲内 隆夫

【事業内容】 建設機械関連部品の輸入販売、特殊車両の開発・仲介業務、機械部品の調達・販売など
【住所】 駒形1-10-18

株式会社センターインコーポレーションは、ニッチ市場といわれる需要はあるが規模が小さいために大手企業が参入できない分野に着目し、幅広い事業を行っている会社です。事業の中心となっている特殊車両の部品の輸入販売では、特に建設機械のゴムクローラー関連部品などを取り扱っています。同社では輸入した部品をそのまま販売するのではなく、要望に合わせてさび防止の塗装を施したり、自作の専用鉄製ケースに納めて納品したりと顧客に喜ばれるひと手間を加え、好評を得ているそうです。代表取締役社長の仲内隆夫さんは「お客様まの悩みや要望に耳を傾けるなど普段からニーズを捉えるようにしています。そのことが業務の拡大にもつながっています」と話してくれました。

そんなニーズの発掘は同社の商品開発にも生かされています。そのひとつが燃料漏れ防止に優れたトラック用給油口キャップ「ナイスキャップ」です。一般的なトラック用給油口キャップには、タンクの中の軽油が気化して膨張するのを防いだり、燃料をエンジンに送ったりするために空気孔が設けられており、傾斜した道を走ると穴から軽油が漏れ出してしまいます。こうした現状を知った仲内さんは、将来的に燃料漏れ対策が必要とされていくと考え開発に着手。エンジンリング会社と協力し、金属ボールを内蔵した独自の機構で気化した燃料をタンク内に留保し、戻す仕組みを持った今までにないキャップを作り上げました。トラック運転手からの反応も良く、平成30年の燃料漏れ防止基準の厳格化を前に、より関心が高まることが期待されています。

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。

私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。併寄は毎月5日までに、はがき・封書で広報広聴課へご応募ください。

- | | | | | |
|----|------------|------------------|------------|----------------|
| 俳句 | 荒木 藤田 明枝 | 平凡を夫と分かちぬ新豆腐 | 荒木 森田 静 | ふんわりと稲田ふくらむ里の道 |
| | 南河原 今村 文女 | 震災日限確かむ保存食 | 天満 青柳 欣吾 | 遠花火静寂の闇をあやなせり |
| | 荒木 藤田 栄之 | それぞれの人生にじむ敬老会 | 持田 島田 悦子 | 加須の花咲かせし夏の甲子園 |
| | 矢場 高田みつ子 | 地蔵盆白く塗られし辻仏 | 佐間 須永 節子 | 母の歳越えて叶わぬ冷し汁 |
| | 持田 二瓶 弘子 | お仕置きのごとき残暑に耐へるのみ | 持田 小倉 繁三 | 怖き事孫に問はれし敗戦日 |
| | 富士見町 金井しづ子 | ことごとく栗を茹でつつ便り書く | 富士見町 森 節子 | 鈴虫の音色かすかに受話器より |
| | 荒木 手島 一海 | くつきりと小さき歯形や林檎剥く | 富士見町 鈴木スイ子 | 手庇で信号を待つ残暑かな |
| | 樋上 吉澤とし子 | 児童等の声透き通る原爆忌 | 谷郷 山内ふく子 | 朝露の一粒つづに空の色 |
| | 城西 榊原しずか | 長旅の盆の客には熱き茶を | 西新町 青木 泰山 | 丸墓の山より眺む青田波 |
| | 荒木 高澤よね子 | 喪の袖に過去たぐり寄せ夏終る | (三沢 一水 監修) | |